

2013年7月11日

公益財団法人 日本サッカー協会  
2013年度 第4回理事会

## 協議事項

1. Jヴィレッジ復興サポートプロジェクト（仮称）の件
<p>(1)概要 福島第一原子力発電所事故の収束対応のため、東京電力が利用していたJヴィレッジの事故対応拠点としての機能の一部が2013年6月末以降に移転されることに伴い、徐々にではあるがナショナルフットボールセンターとしての機能回復を検討できる段階になってきた。 そのため、JFA内にJヴィレッジ復興サポートプロジェクト（仮称）を立ち上げ、関係各所との調整をはかりながら一日でも早くJヴィレッジを利用できる状態に戻すことに努める。</p> <p>(2)具体案 JFA内に若干名で構成するJヴィレッジ復興サポートプロジェクト（仮称）を立ち上げ、株式会社日本フットボールヴィレッジ代表取締役副社長に就任した（JFA業務との兼務）上田栄治理事をサポートする体制を整え、JFA・Jヴィレッジ相互での迅速な情報共有を図る。 今後、Jヴィレッジの実情をタイムリーに把握し、一日でも早い機能回復を実現するため機動的に動くことが可能になる。</p> <p>(3)メンバー案 リーダー：大仁 邦彌（会長/株式会社日本フットボールヴィレッジ取締役）</p>
2. 2013年度 功労賞の件
<p><b>（協議）資料No.1</b></p> <p>地域及び都道府県FAから申請があった別紙資料の方に、功労賞を授与したい。</p> <p>※対象者</p> <p>(1)地域及び都道府県FA三役（会長、副会長、専務理事及び理事長）を退任された方 (2)地域FA役員を退任された方（役員歴20年以上）：各地域FA 年度毎2名以内</p>
3. 2013/14年ビーチサッカー競技規則の改正及び修正の件
<p><b>（協議）資料No.2</b></p> <p>2013/14年のビーチサッカー競技規則の改正及び修正を別紙資料の通りとしたい。</p>
4. ドイツサッカー連盟とのパートナーシップ協定更新の件
<p>以下の内容で、ドイツサッカー連盟（DFB）とのパートナーシップ協定を更新したい。</p> <p>&lt;協定内容&gt;</p> <p>実施事項： ・選手育成や指導者養成における選手・指導者の交流 ・マーケティングやリーガル等アドミニストレーションスタッフの交流 ・その他</p> <p>期 間： 2013年7月16日～2015年7月15日</p> <p>経 緯： 東京オリンピック前からドイツサッカー連盟より、デットマール・クラマー氏を指導者として招き、日本サッカーの発展に多大なる貢献をして頂いており、</p>

ドイツサッカー界と日本サッカー界との協力関係は長年の歴史がある。指導者や選手の交流が多方面で行われている中、2011年にDFBより正式な形でアジアのパートナーとして、JFAと協力関係を結びたいとの打診があり、選手や指導者の交流、またマーケティングやリーガルの分野でも交流するために、包括的な協力関係を結ぶ覚書に調印した。(2011年6月)

覚書の期間満了を迎えることから、再度両者の希望により覚書を更新する。

更新手続き：ドイツサッカー連盟 Markus Weidner 氏 (Head of Coach Education and International Relations) が来日、JFAハウスにて覚書へ署名する。  
(2013年7月16日予定)

#### 5. 47FA グラスルーツフェスティバル開催支援の件

##### (協議) 資料No.3

これまで行なってきたフェスティバルとあわせ、普及(キッズ)事業を各都道府県内でより効果的に推進するために、別紙支援要項を設けフェスティバル開催を促したい。

##### ■背景と内容

これまで各地で数多くのフェスティバルが開催されているが、支援を始めて10年が経ち、フェスティバルに参加する子どもの固定化、指導・運営にかかわる人手不足、フェスティバル内容のマンネリ化(同じ組織体制、同じ形式など)等の課題も出てきている。

一方、普及の新しいメソッドを学ぶ機会として、2010年からはFIFAよりインストラクターを招聘し、FIFAのメソッドを学ぶ機会(FIFAグラスルーツセミナー)を設け、また都道府県内での普及活動を担う仲間として、Jクラブ普及担当者向けへの研修会を実施し、新しい情報の提供・共有を行ってきた。

前出の課題への対処はじめ、サッカー初心者や新たなサッカーファミリーを獲得しつつより充実したフェスティバルを実施するためには、グラスルーツセミナー、研修会の受講者を積極的に登用することが有効であると考えている。

そこで本要項を設け、セミナー、研修会を受講したJクラブ関係者らを登用することを条件とし、フェスティバルの発展、活性化を目指していく。

\*開催支援要項：別紙

#### 6. 2014年以降のU-13リーグの件

##### (協議) 資料No.4

2007年よりJリーグと共催しているU-13リーグを、他年代のリーグ整備と同様に、2014年度より運営管理主体をJリーグからJFAに移管し、現行のJFA M8:U-15地域リーグ支援制度に盛り込み、リーグの実施と引き続きのリーグ整備を行いたい。

##### ■背景

2007年よりJリーグと共催し、育成年代全体でのリーグ整備とともにU-13リーグの実施と整備に努めてきた。近年チーム数の増加、都道府県リーグとの昇降格が行われるようになってきており、当初のリーグ規模から大きく変遷してきており、これまでの管理運営体制を見直す必要が出てきた。

7. リスペクト・プロジェクトの件

リスペクトF. C. JAPAN シンポジウムの開催について

別紙資料の通り、リスペクトF. C. JAPANシンポジウムを開催したい。

(協議) 資料No.5